



超えられない壁はきっとない 映画「咲む」上映会

2月13日(土)にぎわいの里のいち カミーノで市聴覚障害者協会、手話サークル「てのひら」・「すずらん」主催の映画会が開催されました。初めての土地に飛び込んだらうの女性と地域の人々が手話、表情や身振り、筆談など工夫しながら次第に心を通わせていく物語です。ろう者が直面する社会の障壁なども描かれ、劇中を通して障害とは何かということを見る人に語りかけます。鑑賞後には「自分も手話を始めたい!」とさっそく、行動に目を向ける参加者もいました。

北国街道の美化に取り組みます

アダプトプログラム調印式

3月1日(月)はくさん信用金庫と市は1級幹線本町二丁目小学校線など約500mにおいて、公共施設管理ボランティア支援事業に合意し、調印式を行いました。今回アダプトプログラムとして除草清掃に取り組む区域は、同信用金庫野々市支店が所在する旧北国街道にあたり、活動を通して街道のにぎわい創出の一助となることも期待されます。栗市長は「ずいぶん以前からまちづくりにご協力いただいている。安心してお任せ出来る」と感謝を述べました。



アダプトプログラム登録団体としては、47団体目となりました。



特別ゲストは鶴見彩さん。美しいハーモニーが会場に響きました。

大切な子どもたちへ 特別な贈り物

布水中学校PTA行事

3月3日(水)、布水中学校PTAによるプロジェクトショナマッピングの上映会があり、生徒約700人が音と光のショーを楽しみました。例年はPTA行事としてもちつき大会を行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症のため中止に。多くの我慢を強いられている子どもたちに特別な体験を残したいという想いでサプライズで開催されました。思い出の写真や先生からのコメントが織り交ぜられた映像は、温かな応援のメッセージとして子どもたちの心に届いたはずです。



大出力のプロジェクターはなんと沖縄の賛同者からの提供!

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

初めての同日開催!

花と緑のいち椿まつり&マナビフェスタ

3月20日(土・祝)と21日(日)、「花と緑のいち椿まつり2021」と「のいちマナビフェスタ2021」が開催されました。例年は10月～11月に開催されているマナビフェスタですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で延期となり、今回の同日開催となりました。

当日は両方のイベント会場を巡るクイズラリーや各会場を結ぶシャトルバスの運行もあり、双方を行き来して展示やステージ発表を楽しむ人が多く見られました。



①椿まつりは2年ぶりの開催です ②フォルテロビーで市内のツバキを展示 ③椿館ではツバキの解説 ④金沢能楽会の島村明宏氏による舞囃子「西王母」 ⑤フォルテホールの椿オリジナルステージ ⑥ツバキの生け花コーナーも ⑦カミーノには公民館サークルなどの作品を展示 ⑧ものづくり体験ができるワークショップ ⑨カミーノのホールでも日頃の成果をステージ発表

幻の日本酒「猩々」復刻

日本酒「猩々」とは

国指定重要文化財である喜多家住宅で昭和50年頃まで造られていた日本酒。

「猩々」復刻プロジェクト

北国街道や市全体の賑わい創出のため、失われた市民の味を復活させるべく平成30年度からプロジェクトが始動。喜多家住宅で採取した酵母を基に、中村酒造株式会社・石川県立大学・野々市市の産学官連携で、現在開発試験を進めています。

市民の皆さんに親しまれる新たな特産品としての成長が期待されます。



椿まつりでお披露目

椿まつりの会場では、「猩々」のサンプル酒(純米酒)と、酒粕を使用した「喜多家酒蔵パン」のおためしコーナーを設置し、多くの市民が味わいました。また、ラベルデザインの人気アンケートも実施し、一般発売に向けての歩みを進めています。



飲みやすいすっきりとした味わいです